

平成23年度 少子化対策関連予算のポイント 57億円 (平成22年度 50億円)

～ こどもを生み育てやすい環境づくりに向けて ～

●ライフステージに応じた総合的な少子化対策の推進

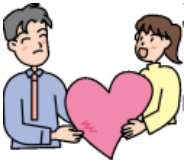
(安心こども基金の活用 30事業 9.7億円)

結婚

16,244千円

結婚を望む独身男女の出会いのきっかけづくりを応援

- ④ 出会いのきっかけ応援事業費 (9,519千円→16,244千円)
 - ・県主催による交流会の開催 [3回→6回]
 - ・市町村等の実施する出会いイベントへの助成 (2,100千円→3,000千円)
 - ・出会い応援団のイベント実施を支援 [活動促進補助金の新設]
 - ・婚活サポーター活動の促進



妊娠～出産期

313,876千円

県民だれもが安心して、妊娠・出産できる環境づくり

- ④ 不妊治療費助成事業費 (30,166千円→40,151千円)
 - ・特定不妊治療への助成 [1年目：年2回→年3回]
- ④ 周産期医療体制整備事業費 (54,735千円→45,446千円)
 - (産科医等確保支援事業費補助金)
 - ・産科医等の処遇を確保するため分娩手当を支給する医療機関への支援 など
- ④ 妊婦健康診査支援基金事業費 (187,860千円→155,001千円)
 - ・妊婦健診9回分の公費負担
 - ・妊婦健診受診の啓発
- ④ 母体管理支援事業費 (7,037千円→4,334千円)
 - ・女子高生に対するハンドブックの配布
 - ・高知県版母子健康手帳別冊の作成・配布
 - ・妊娠期から出産後までの訪問指導等、ハイリスク妊婦に対する支援体制の強化



子育て期

4,642,079千円

子育ての支援



小児救急電話相談事業

(4,569千円→5,209千円)

- ・小児患者の保護者の不安を軽減するため、小児救急電話相談を実施

家庭支援相談等事業費

(18,044千円→66,911千円)

- ④ 市町村が行う児童の安全確認等のための体制強化や人材育成、虐待防止のための広報啓発等への助成
- ④ ケースの適切な進行管理と情報共有を図るための児童相談業務全般のシステム化 など



多子(3子以降)世帯への支援

乳幼児医療費補助金

(494,773千円→436,216千円)

- ・第3子以降の就学前の幼児の医療費の原則無料化

多子世帯保育料軽減事業費補助金

(98,157千円→97,559千円)

- ・第3子以降3歳未満児の保育料の無料化(軽減)



保育サービス促進事業費

(349,032千円→600,944千円)

- ・地域のニーズに応じた保育サービスや子育て支援の充実に向けた取組への支援

放課後子どもプラン推進事業費

(364,272千円→399,968千円)

- ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室の設置促進と学習活動の充実 [児童クラブ・子ども教室・放課後学習室 187箇所→216箇所]

働き方の見直しや仕事と家庭の両立支援

④ 次世代育成支援事業費

(3,993千円→13,203千円)

- ・認証制度の普及啓発(400社の企業訪問)
- ・企業向けセミナー等の開催 [3回→6回]
- ・小規模企業への広報への充実(2,000社)

④ 子育てしやすい職場環境づくり推進事業費補助金

(0→5,000千円)

- ・従業員の子育て支援等の取組を行う企業・団体への助成

広報啓発

30,239千円

少子化対策県民運動推進事業費

(21,931千円→16,137千円)

- ④ 子育て応援キャンペーンの実施
- ④ 子育て応援番組の制作放送
- ・子育て応援フォーラムの開催
- ・子育て家庭応援の店の推進

結婚や子育てに希望の持てるあたたかな社会

子育て家庭等の経済的負担の軽減

(再掲) 3,059,968千円

不妊治療費助成事業費 (30,166千円→40,151千円)

妊婦健康診査支援基金事業

(187,860千円→155,001千円)

乳幼児医療費補助金 (494,773千円→436,216千円)

多子世帯保育料軽減事業費補助金

(98,157千円→97,559千円)

児童手当・こども手当費

(1,518,608千円→1,519,324千円)

ひとり親家庭医療費助成事業費補助金

(269,257千円→271,626千円)

④ 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費

(0千円→540,091千円)